

# 高田城の桜がCNNの

## 世界五大花見に選ばれて

—海外からの観光客の増強に向けて

小金井市 伊藤 利彦（本町一丁目出身）

ご存じの方も多いだろうが、今春、『高田城の桜』が、CNNの観光や旅行の情報サイトで、今が旬の世界五大花見の一つとして紹介された。三月二十九日の掲載だった。

『高田城の桜』についての記事の内容は以下の通り。桜ロードに沿って数千のぼんぱりに照らされた高田城の桜は、とてもロマンチック（美しく幻想的）であり、日本三大夜桜のひとつとして知られる。新潟県観光地域振興課の秋山氏によれば、今年は、天候が寒く、開花が四月中旬から下旬にずれ込むと予想。花見には、たこ焼きや焼き鳥の屋台も三百店も並ぶし、最終日の花火は必見。

この『高田城の桜』記事は、東京支局が新潟県に電話で取材し、アトランタのCNN本社において、他の支局からの取材と合わせて、アジア系米国人が取りまとめたものだという。

ちなみにCNNは、ニュース専門放送局で米国最大手のひとつ。このサイトも全世界に向けて公開されている。今回の

五大花見のヒット数は明らかではないが、数十万はあるのではないかとのことだった。

あらためて言うまでもなく、この記事の持つ意味の重要さは、『高田城の桜』が、今が旬の世界五大花見として取り上げられたことにある。他の四つとは、チューリップで有名なオランダのキューケンホフ公園、イギリス・ロンドンの王立植物園、中国・上海の南匯区の桃園、そして、フランス・ブルバنسのラベンダールートである。

いずれも国レベルで誇るガーデンや花の名所である。とりわけ、前者二ヶ所は、地理の教科書にも載るほどよく知られている。

それらと肩を並べての紹介は、どんでもなくすごいことなのである。おかげさかもしぬないが、高田の桜も、彼らに負けないだけの世界的有数の器量を持つ花見とお墨付きをいたいたいようなものだ。言葉の良し悪しは別とし、国レベルで誇れる有力な観光資源

といつても過言ではないのだ。

翻つて、今年の高田の花見をみてみると、上越市役所観光振興課によれば、一〇五万人以上が訪れたそうである。上越観光コンベンション協会による推計では、地元への経済効果は三十五億円以上で、見物客による消費額は二十四億円超にのぼるという。

しかし、見物客の八割弱が県内からで、二・五割は市内の住人である。県外

からは二割強にすぎない。それも、長野、富山、東京程度である。海外からの見物客ともなると、ほぼ皆無に近い。それでも、日中交正 normalization 四〇周年事業として中国南京市より一二〇名もの訪問客があつたことは、特筆しておきたい。

宿泊客となると見物客のうち一割程度で、そのうち上越市内に宿泊したのは宿泊客の四割、つまり、見物客全体

### 3. Takada Castle cherry blossoms, Jōetsu, Japan



Viewing blossoms is not just a daytime activity.

Takada Park in Niigata prefecture offers a romantic option for nocturnal visitors. Cherry blossom viewing in Takada Castle is one of the three biggest night hanami events in Japan.

The tourism website shows you how to hanami like a Japanese.

Takada Park's 4,000 blooming cherry trees will be lit up by thousands of bombari lanterns (traditional small oval-shaped lanterns) along the "Sakura road."

"Because of cooler weather this year, cherry blooms will start a little bit later than usual," Kazuyuki Akiyama from International Tourism Office of Niigata Prefecture estimates. "I would say mid-to-late April will be the best time to see cherry blossom at Takada Castle."

Traditional Japanese food and local food specialties like yakitori and takoyaki will be sold from 300 outdoor stalls at the event during the festival.

Also, don't miss the firework on the final day.

Takada Park: Opens daily until 10 p.m. (evening hanami starts after sunset). Free (within the park) and ¥200 (US\$2.4) for entering Takada Castle's turret, [enjoyniigata.com](http://enjoyniigata.com)

CNNの記事「5 blooming great flower festivals】

の四%の四万人程度である。

だが、消費単価でみると、日帰り客は二〇七一円に対して、宿泊客は八五〇八円。やはり、宿泊客を増やしていくべきところである。

その意味では、今回のCNNでの紹介は、国内外、とりわけ海外へのPRの強力な後押しとなる。観光客増大に努めている上越市にとつては、ピツダヤンスである。

COURTESY KEUKENHOF

オランダのキューケンホフ公園のチューリップ



COURTESY SHANGHAI BOTANICAL GARDEN / NANHUI PEACH BLOSSOM VILLAGE

中国上海の南匯区の桃園



COURTESY R.H. KEW

英国ロンドンの王立植物園



COURTESY ALPES-DE-HAUTE PROVENCE TOURISME

フランス・プロヴァンスのラベンダー

ても何か特別の対応があつたとは聞かない。もちろん、来年に向けては、パンなどへの今回のCNN記事掲載などいろいろと策を練っておられることだろう。

こうなると、上越出身の我々として、も、お世話になつた故郷のために、少しは、知恵を絞るのが浮き世の義理といふものであろう。

私の場合、花見客増強などと大上段に構えて、もの申すような立場でもなければ、アイデアもない。ただ、東南アジアと豪州に十年ほど暮らし、中堅旅行社会社経営に十年弱携わってきたといふ経験がお役に立てるかもしれない。

国内や海外一般からの観光客増強は、他の人に任せするとして、以下は、

○本当に、桜は、外国人にとって、魅力があるのか。

今年は、米国ワシントンに桜が贈られた百年ということだが、年々人気が高まってきた彼の都の「桜まつり」が盛んに行われたと聞く。前述の南京市からのお客様たちも、高田公園の夜桜を堪能し、中国にはこのような桜の公園がなく初めて見たと大変喜んだという声が一度は、日本の桜には敵ないと軽く一蹴されてしまった。

やはり、桜には魅力があり、相当な数の外国人は、機会があればぜひ観たいと思っている。高いレベルの高田の桜は、大いに有望である。自信を持つ

○それでは、アジア・豪州からの観光客を増やすには、なにが足りないのか、どうすべきか。

私のつたない経験でも、香港マレー

シア駐在時代に、現地の人から、一生をプロモーションに絞つて、ささやかながら考へておられるところを述べてみたい。

# 1. 知名度のアップ

旅行会社勤務の頃も、東京からの送客は、地方の桜では高遠、三春、青森が先行し、高田へは殆どなかった。大手旅行会社に高田の桜を紹介したことがあるが、反応がいま一つだった。まして、海外での知名度は皆無に等しかったと想像できる。

この点、今回のCNNの取り上げは強力な助っ人である。大いに活用すべきだ。海外客呼び込みのインパクトで旅行社への売り込みに加えて、後述するが、環境が整えば国の方も利用することも考えられる。

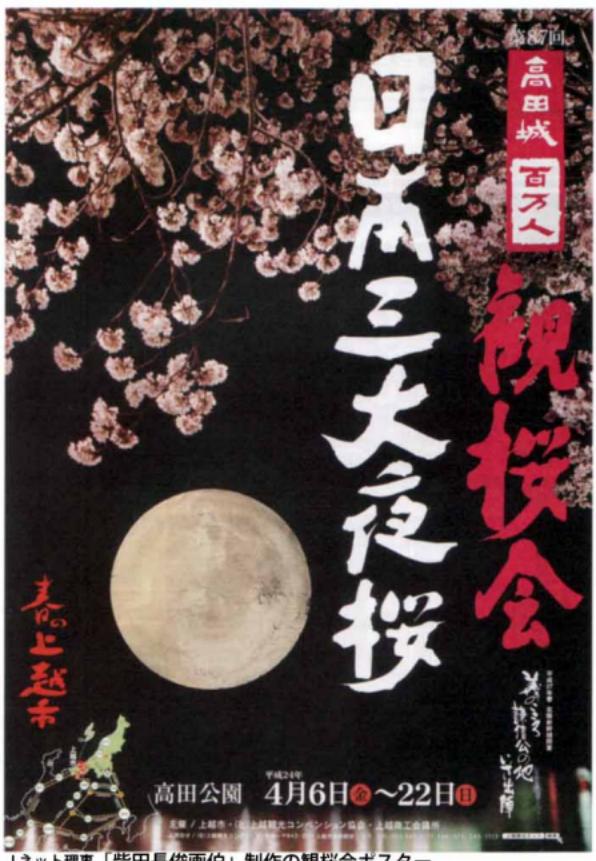
中通しての観光客を呼び込む必要もある。

お隣の妙高市では

高田城

百万人

# 日本三大夜桜



## ② 桜だけでいいのか。

北陸新幹線の開通で東京とは一時間の距離で、さらに富山空港とは一時間の距離となる。観光の点からは、誠に嬉しいかぎりだ。

## 2. 観光インフラの整備

### ① 交通の便は大幅に改善。

いろいろとタネはあると思う。

### ③ 宿泊施設不足はどうすべきか

確かに上越では、アメリカ型のホテルの室数は限られている。そう簡単に増やせるものではない。

しかし、いま日本では、ホテルではなくとも、豪州や欧米人が興味をもつ宿が増えている。例として挙げれば、これは、高田の町家を連想させる。

この家の古さと小じんまりさは、親切なご主人とともに外国人の人気を得て、口コミでも知れ渡っている。リピーターも多いと聞く。予約はネットで、手頃な宿泊代をベースとして、食事代を上乗せしていくスタイルだ。

このことは、思つてはいる以上に簡単なことである。通訳たって、キーワードを抑えキチンと把握しておけば、それほど難しくはない。問題は、

観光パンフや看板やサインにも外国語表示が必要であるし、通訳のできる案内人も要るだろう。こうしたことから、思つてはいる以上に簡単なことである。通訳たって、キーワードを抑えキチンと把握しておけば、それほど難しくはない。問題は、

一回限りの観光客を目当てとするなら、桜だけでも売り込める。しかも、四月という時期を考えると、地方の桜としての主な競争相手は、高遠の桜くらいかもしれない。彼らに対しては交通の便でも優位に立てそうだ。

しかし、桜の季節だけで受け入れ施設や体制を維持はできないだろう。年

確かに上越では、アメリカ型のホテルの室数は限られている。そう簡単に増やせるものではない。

しかし、いま日本では、ホテルではなくとも、豪州や欧米人が興味をもつ宿が増えている。例として挙げれば、これは、高田の町家を連想させる。

この家の古さと小じんまりさは、親切なご主人とともに外国人の人気を得て、口コミでも知れ渡っている。リピーターも多いと聞く。予約はネットで、手頃な宿泊代をベースとして、食事代を上乗せしていくスタイルだ。

このことは、思つてはいる以上に簡単なことである。通訳たって、キーワードを抑えキチンと把握しておけば、それほど難しくはない。問題は、

確かに上越では、アメリカ型のホテルの室数は限られている。そう簡単に増やせるものではない。

しかし、いま日本では、ホテルではなくとも、豪州や欧米人が興味をもつ宿が増えている。例として挙げれば、これは、高田の町家を連想させる。

この家の古さと小じんまりさは、親切なご主人とともに外国人の人気を得て、口コミでも知れ渡っている。リピーターも多いと聞く。予約はネットで、手頃な宿泊代をベースとして、食事代を上乗せしていくスタイルだ。

このことは、思つてはいる以上に簡単なことである。通訳たって、キーワードを抑えキチンと把握しておけば、それほど難しくはない。問題は、

確かに上越では、アメリカ型のホテルの室数は限られている。そう簡単に増やせるものではない。

しかし、いま日本では、ホテルではなくとも、豪州や欧米人が興味をもつ宿が増えている。例として挙げれば、これは、高田の町家を連想させる。

この家の古さと小じんまりさは、親切なご主人とともに外国人の人気を得て、口コミでも知れ渡っている。リピーターも多いと聞く。予約はネットで、手頃な宿泊代をベースとして、食事代を上乗せしていくスタイルだ。

このことは、思つてはいる以上に簡単なことである。通訳たって、キーワードを抑えキチンと把握しておけば、それほど難しくはない。問題は、

自分の伝えたいことが意外にわかつてないことが多い。この点は、関係者が事前に勉強しておくことが必要だ。タクシードライバーはiPadを持たせて外国人観光客とコミュニケーションを図っているというところもある。

### 3. 国の支援を得られないか

このほど、政府は、二〇二〇年までの成長戦略を盛り込んだ「日本再生戦略」の原案を公表した。この中の観光立国施策では、訪日外国人観光客の目標を二五〇〇万人としている。昨年の観光庁によれば、いろいろな支援策を用意しているとのことだ。地域おこしのために、専門家の知見活用、芸術事業の推進、エコツーリズムの取組支援、特産品作りやイベント支援、町の魅力アップ支援とその基盤整備、それに歴史文化遺産を生かした観光振興などを支援する用意があるので、ぜひ手を挙げてほしいと言っている。

高田の桜は有力な観光資源という意味においても観光庁には興味はあるとの感触を得た。但し、大事なことは、まずは、地元でどうやりたいのかを固めることだ。そのうえで国に持ち込み、あくまでも地元の方針に沿って国の手を借りるのがいいと思う。ご存じの通り、国任せは進まない。

○最も大切なこと—自信を持つて自分たちの持つものを見せてほしい。

以上、独断と偏見でいろいろと書いた第一は、一般的にみて、中国人を除いて、アジア人や豪州人は、欧米人と較べてとてもウエットなメンタリティ（心情）を持ち、それは、我々と共にしているということだ。中国人は、私の偏見では、少し欧米人に近いかも

かっての超人番組「おしん」はアジアや豪州でも放送され、高視聴率を獲得。マレーシアにいた私にも、日本人とわかると、おしんに同情し、おしんが貧乏に負けず、頑張ってほしいといふ言葉をいくつもかけられた。もっとも、あれはYストアの創業者がモデルだというと多少白けたが。

豪州でも、隣家の老夫人は熱烈なファンだった。夜帰宅したばかり私を捕まえて、おしんの境遇に同情し、涙を流して手を挙げてほしいと言っている。

高田の桜は有力な観光資源という意味においても観光庁には興味はあるとの感触を得た。但し、大事なことは、まずは、地元でどうやりたいのかを固めることだ。そのうえで国に持ち込み、あくまでも地元の方針に沿って国の手を借りるのがいいと思う。ご存じの通り、国任せは進まない。

○最も大切なこと—自信を持つて自分たちの持つものを見せてほしい。

た壁を作つてのことだと思つた。旅行業界では、お客様は、有名な城や歴史的建造物、自然の絶景など名所旧跡への観光は一度限りで同じ場所を再度訪れるとは稀れと言わされている。実際、その通りだつた。ところが、気に行つた添乗員がいるときの添乗員のツアーハンは盲目的に参加するということも眼にしてきた。ファンが付くといふケースである。

これを、私は「ハーダーは一見（いちげん）、ソートはリピート」と呼んでいた。城や桜だけなら一回見れば充分、しかし、そこに人間らしさを感じると何度も触れたくなるということだ。

実際にあつたことだが、南ドイツのある高額旅行が、途中で、季節外れの大雪に襲われた。川が氾濫して、道もふさがれ、ツアーハンは宿泊予定のホテルには辿りつけそうもない。そこで、添乗員は、お客様の了解をとつて途中の宿屋に泊ることにした。上越人は、充分に自信をもつて、自分のなんとか、小さな宿屋を見つけたものの、全員分のベッドは確保できない。初夏なのにとても寒く、旅行者たちから不満が出た。停電で、しかも、夕食もついていない。添乗員は、雨の中、食料を買いに外出したが、夜も遅く閉店していくなにも手に入らなかつた。

彼らは我々と同じメンタリティをもち、共通することも多い。お互いにすつきりとコミュニケーションがとれる土壤があるのだ。もし、巧くいかないのあれば、問題は我々が心の中に間違つてゐる。自然とお互いの話も出た。添乗員は、ダイニングで毛布をはお上げたいと思う。その第一は、一般的にみて、中国人を除いて、アジア人や豪州人は、欧米人と較べてとてもウエットなメンタリティ（心情）を持ち、それは、我々と共にしているということだ。中国人は、私の偏見では、少し欧米人に近いかも

り、もうそくを開んで、リングをかじつて過ごした。自然とお互いの話も出た。帰國後、添乗員は、クレームの嵐を感じ、あの暗い夜の中でリードしてくれた添乗員のことをひたすら褒めている。この添乗員のツアーハンは今でも定評があるという。

そう、「おもてなしの心」こそが、最高にして最強の観光資源である。そして、その心が、上越人には備わつていて、外国人とは、ひと言でも話が出来れば通じあえるものだ。向うもそれを望んでいる。それを妨げるのは、自分の心のなかにある「しようしい気持ち」だと思う。「おもてなしの心」で「しようしい気持ち」を乗り越えてほしいと願つてゐる。

○最も大切なこと—自信を持つて自分たちの持つものを見せてほしい。

自分たちの持つものを見せてほしい。そのためにとっておいたりんごを出してくれた。

その晩は、お年を召した旅行者八名で、パンとサラミ、それに、自分たち